

## 天照大神の神示 この国のあるべき姿 (2017年1月11日) 担当:石田昭 2017年2月11日

- 1 総裁先生の言葉: 天照様のお言葉は実現するものが多い。東日本大震災の予言、熊本地震でも「最終通告」という言葉があった。天照様の考えていることが現実化してくるということだろう。天照様の靈言を私(先生)が取るのは終わりに近いかも。ご本人が語る時代?
- 2 警告が充分に理解されていない。神の言葉を宣べ伝えることを妨げる力があり、何となく日々が継続することを考えていること、ただただ残念。マスメディア内部への降魔即伝道が大切
- 3 天皇は生まれにより「天職」「天命」が決まっている存在。自発的に退位できるものではない。退位法の立法は「臣民の手で地位の入れ替え可能」を意味し、間違っている。
- 4 現天皇、皇太子に「天照の肉体子孫」の自覚があるのか問いたい。天照大神の言葉を伝え聞くのが天皇の役割。皇室には外国になびき過ぎた者もいる。高天原への「不敬」あり。乃木將軍の昭和天皇教育と違い、バイニング夫人の影響による外国への憧憬か?雅子妃選びも影響か?
- 5 実質権力者は中身が必要、真珠湾での本心は何だったのか。カジノ?「お金万能の世」が欲しいのか。国民が豊かでないのは信仰心が薄れているから。信仰からの繁栄を目指せ。
- 6 日本の魂を持つ海外指導者?日本のあるべき姿をまず正せ。海外からの手助けを期待するな。
- 7 天照からの神示が「重大なことである」と受けとめないのなら、天変地異はまだ続く。私が「主宰神」であることが分からぬのなら、国民としての基本的な責務の放棄である。
- 8 「科学的態度」によって導かれる結論が正しいのではなく、そもそもが間違っている。
- 9 日本の国は原始より存在し、世界の先駆けとして存在する太陽信仰の国、世界を導く。
- 10 二千年の血塗られた歴史を持つキリスト教国、革命と戦争を繰返したイスラム教国は深く反省するべき時が来ている。「調和と慈悲の心」が芽生えるてくることを願っている。
- 11 信仰は広げることに最大の価値がある。2、3世会員には、1世とは違う使命がある。
- 12 組織の論理について行けない会員も出ているが、当会は河口にまだ到達していない、その間に「個人主義」に拘るのはつまらないこと。神の心を考え、砂地に消える水となるな。
- 13 弟子の力が弱いのではなく、外側の力が強すぎて、壁が厚い。無信仰者の力が強い。やるべきことを、毎日やっていく事を大事にせよ。自分に与えられた武器を磨き上げよ!?
- 14 映画制作、政党活動などもあるが「手段」を「目的」と誤解してはならない。使命を果たすことを弱める働きをしてはならない。「国民の啓発」「人類の目覚め」という目的を忘れないこと。信仰を裏返すような情けない活動にならぬよう自戒が必要。(何のことか?)
- 15 調和し、互いの長所を生かすための秘訣は?「謙虚」であること。高位の役職を持ったとしても、「一介の活動家として仕事を続ける」という気概がなければ、存在の意味はない。
- 16 「神の下の平等」を再考して欲しい。自己実現のために、教団の総合力を落としたり、調和を乱してはならない。それは革命集団やテロ集団と変わらない心である。(心配事?)
- 17 「外に出る活動は苦手」という意識の改革法?その言い訳は30年聞いてきた。「不言実行」「何ができるか」を考える事。創意工夫すれば雨の日でも運動はできる、のと同じ理屈。
- 18 個人によって“武器”は違うだろうが、自分の武器で「邪悪な世界」と戦い、「真実」を押し広げていく努力をせよ。無知蒙昧な人が圧倒的に多い世の中で、不倒不屈であれ。
- 19 組織が成長の限界に当っているのは確かだが、どうやってそれを破るかを考えること。世界が見習い、尊敬する信仰心に満ち溢れた日本国に。そのとき(2020年)は迫っている。
- 20 天変地異があろうとも、戦乱が起きようとも、逆判断したり、ぶれたりしてはならない。
- 21 あとがき: 唯物論科学が席巻した大学不認可事件。神の裁きの網は誰も逃れられない。